

Formula Blue

YAMAHA 5L KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門東西統一戦鈴鹿大会

■開催日：11月17～18日

■天候：晴れ ■参加台数：55台

清水英志郎エンジントラブルでチャンピオン獲得ならず 一期生ドライバー4名が挑戦と成長の一年を終える

全日本カート選手権 FS125 部門東西統一戦鈴鹿大会が、11月17～18日の2日間、三重県・鈴鹿サーキット国際南コースで開催された。今季、東西両地域に分かれて戦ってきた選手が一堂に会し、シリーズチャンピオンを決めるこの大会。ヤマハ「Formula Blue」スカラーシップドライバー4名がエントリーした。この大会を迎える時点でFS125部門の総合ランキングトップとなっているのは清水英志郎。自力でのタイトル獲得の可能性を唯一持つドライバーとして、有利な立場でこの大会を迎えることとなった。

Time Trial/Qualifying Heat

今大会は、東西両地域のドライバーが集まるため、参加台数も55台と多く、タイムトライアルは3グループに分かれて行われる。土曜日に抽選によってグループ分けされるが、今季のここまでの流れでは、先に出走するグループの方が好タイムを出していることが多い。1グループは山中秀馬のみで、清水英志郎、居附明利、木下藍斗は揃って3グループでの出走となった。

そのタイムトライアルで総合トップタイムをマークしたのは、木下。最終グループでの出走ながら、最後のアタックで50.217を出しポールポジションを獲得した。居附が16位、清水は20位、山中は37位でタイムトライアルを終えた。

この結果、2グループに分かれる予選ヒートでは、木下、山中がAグループ、清水、居附がBグループで出走することとなった。

日曜日に行われた予選ヒートAグループでは木下がトップ争いを展開しながら周回を重ねていくが、混戦中のバトルで順位の変動が大きく、最後は7位でチェッカーとなった。

同じグループで出走した山中は終始ペースが上がらず23位に終

わり、セカンドチャンスヒートから決勝進出を目指すこととなる。

続いて行われたBグループの予選ヒートでは、居附が2番手グループに加わりレースを展開していく。5台ほどが一列に連なる展開となり、最後は6位でチェッカーを受けた。

清水は、好位置から上位進出を狙っていた3周目のストレートでエンジントラブルが起これストップ、そのままリタイヤとなり、山中同様にセカンドチャンスヒートからの決勝進出を目指すこととなる。

セカンドチャンスヒートは27台中6台しか決勝へ進めない狭き門となる。さらにエンジン交換となった清水は、規則により最後尾スタートとなった。

山中、清水とも集団をかき分けるように順位を挽回していくが、山中が7位、清水が11位に終わり決勝進出は叶わなかった。これにより、清水がタイトルを獲得できるかは、他のタイトル候補のレース結果によるところとなった。

Final Heat

いよいよ今季を締めくくるレースとなる決勝ヒート。22週の長丁場となり、11番手スタートの居附、13番手スタートの木下がどこまで追い上げられるかが注目された。

木下が上手くスタートを決め、オープニングラップを10番手で戻ってくる。しかし、2周目には集団走行中に接触されスピンを喫す。再スタートこそしたものの、集団から離れた単独の最後尾走行となってしまふ。

一方、居附は順調にポジションを上げ、10周目には8番手まで上がってくる。しかし、最後は前方車両の減速を避けようとするもスピンし、大きく順位を落としてしまふ。

単独最後尾から懸命な追走を見せていた木下も集団に追いつくことはできず、最終結果は木下が28位、居附はフロントフェアリング脱落のペナルティもあり30位に終わった。



TOYOTA



GREEN TEC

MS&AD

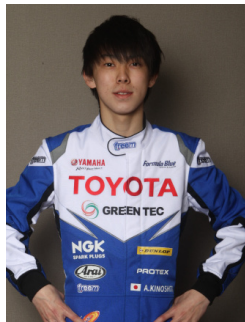
三井住友海上



PROTEX



57 Formula Blue チーム KBF



木下 藍斗 (チーム KBF/ 神奈川県出身 / 17 歳)

レースウィークの練習は絶不調で決勝進出もどうなるかと思いましたが、タイムトライアルでセットを合わせることができポールポジションを獲得できました。予選では自分のペースが上がらず、トップを死守しようとした時に接触があり一気に順位が落ちてしまいました。決勝スタートも前方車両に詰まり、1~2コーナーで左右から飲み込まれてしまい、ポジションを下げてしまいました。その後接触、スピンを喫し最後尾まで落ちてしまいました。速さを見せることが出来ただけに予選順位がもっと上位であれば決勝はこんな結末にはならなかったので悔しいです。今後は速さに強さを加えていけるように頑張りたいと思います。

チーム代表：柳沢 和広【コジマブレンファクトリー】



55 台のタイムトライアルで、タイム差もない中でトップを取れたことは高く評価しています。凄いです。練習時からタイムが出ていた方ではなかったのに、タイムトライアルでは本人が持つパフォーマンスを充分発揮してくれました。これは 100 点です。また、精神面の成長を期待した一年でもありましたが、そこは課題が残りました。ただ、彼の持ち味であるスピードは再確認できましたし、レース活動は今後も続いていくので、それを克服するように頑張ってください。

50 Formula Blue BEMAX



山中 秀馬 (BEMAX/ 茨城県出身 / 16 歳)

残念ながら予選落ちで終わってしまいました。セカンドチャンスヒートではあと 1 台で通過できるところでしたが、その 1 台とも距離がありました。そもそも予選通過できなかったのが自分の問題だと感じています。今季は、最初はタイヤの使い方も手探りだったり初めてのことが多く苦労しましたが、茂原大会では表彰台に乗ることが出来ました。ただ、本庄大会や前回の SUGO 大会も調子が良くなく、今回も結果が残せないまま終わってしまいました。ヤマハのプログラムを通じてフォーミュラカーの走行や全日本フル参戦という貴重な経験が出来たので、これからの活動にも活かしていきたいです。

チーム代表：小野尾 司【BEMAX RACING】



レースの流れを引き寄せられず、弱い部分が台数が多い最終戦でより出てしまったのかなと感じています。今季は、良い面よりも弱い部分が目立ってしまうことが多かったと感じています。チームとしても新しいチャレンジで共に模索していた部分がありました。課題が明確になったので、来年につながる一年になったと思います。

6 Formula Blue Team Nagao



清水 英志郎 (チームナガオ / 兵庫県出身 / 15 歳)

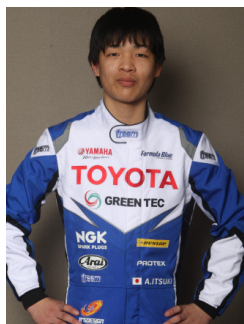
今大会はエンジンが焼き付いて終わってしまいました。去年まではプライベートで活動していたので、勝っても負けても自分で完結していましたが、今年はメーカーの看板を背負って走っていたので結果を残さなければという強い気持ちがありました。フォーミュラの練習もできましたし、今後またチャレンジする機会があれば、今年の経験を活かしていける自信ができました。

チーム代表：長尾 貢【ナガオカート】



前週の練習は良い感じで、何をしても速かったので手応えは十分ありました。タイムトライアルは失敗はしたのですが、それはさほど影響はなかったと思います。ただエンジンが壊れてしまったことがすべてです。今年の経験はドライバーにとっても良い経験になったと思います。ヤマハの看板を背負って、それに応えるというプレッシャーがある中でしたが、よく頑張ったと思います。本人にとってもこれからの自信になると思います。

25 Formula Blue Ash



居附 明利 (Ash/ 愛知県出身 /16 歳)

予選まではセットも決まっていなかったのですが、決勝でセットがばっちり決まり、まだまだこれから行けそうだなといった雰囲気はあったので残念です。
シーズン前半はタイヤの使い方が分からなくて苦しみましたが、瑞浪が地元ということもあり、瑞浪大会で優勝、神戸大会では2位と表彰台に乗れたのは良かったです。
来年もFS125に挑戦し、今年の経験を活かしてチャンピオンを狙っていききたいと思います。

チーム代表：築山 敬【かあと小僧】



最後はまとめようと思い、タイムも出ていたのですが結果に結びつきませんでした。
全日本参戦初年にヤマハ「Formula Blue」スカラシップに選出してもらい、費用面の負担軽減を図ることが出来ました。シーズン中盤以降はチームの指導も奏功し、レースの組立てやマテリアルの理解も進みました。貴重な経験を通じて、人としてもドライバーとしても成長したのではないかと思います。今後の更なる活躍を期待します。



一年間、ご支援とご声援を頂きましてありがとうございました。

全日本カート選手権東西統一戦鈴鹿大会 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	77	渡会 太一	Crocpromotion	50.331 (3)	(3)
2	59	三島 悠太	モリシタレーシング	50.335 (4)	(9)
28	30	木下 藍斗	Formula Blue チーム KBF	50.217 (1)	(13)
30	25	居附 明利	Formula Blue Ash	50.596 (16)	(11)
DQ	50	山中 秀馬	Formula Blue BEMAX	50.827 (37)	(44)
DQ	6	清水英志郎	Formula Blue Team NAGAO	50.614 (20)	(51)

全日本カート選手権ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	高口 大将	Drago Corse	158
2	大木 一輝	KP-BUZZ	144
3	清水英志郎	Formula Blue Team NAGAO	141
13	居附 明利	Formula Blue Ash	67
21	木下 藍斗	Formula Blue チーム KBF	47
22	山中 秀馬	Formula Blue BEMAX	44

EVENT CALENDAR

	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	FINAL
East	22/Apr. MOTEGI	3/Jun. HONJO	1/Jul MOBARA	5/Aug. MOGAMIGAWA	9/Sep. SUGO	18/Nov. SUZUKA
West	1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE	

TOYOTA



GREEN TEC

MS&AD

三井住友海上



PROTEX

